

第5回 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の
これからの考える委員会 会議録

日時 令和元年8月22日(木) 午後1時30分から午後4時00分まで

場所 茨城県総合福祉会館2階 ボランティア会議室

出席者 7名

- ・ 県北支部 菅野 秀行 (支部長：日立市)
- ・ 那珂支部 大宮 武富 (代議員：ひたちなか市)
浅野 健一 (職連協会長・支部長・理事：那珂市)
- ・ 中央支部 菊池 みか (支部長・理事：水戸市)
- ・ 県西支部 柴田 優 (支部長：常総市)
- ・ 事務局 中村 英一 (県社協福祉のまちづくり推進部部長)
篠原 嘉 (県社協福祉のまちづくり推進部推進員)

欠席者 6名

- ・ 県北支部 佐藤 和宏 (代議員：高萩市)
- ・ 中央支部 大平 徳子 (理事：大洗町)
- ・ 鹿行支部 遠峯 茂 (支部長：鹿嶋市)
野口 桂子 (代議員：行方市)
- ・ 県南支部 岡崎 博之 (職連協副会長・理事：石岡市)
中村 真聡 (代議員：かすみがうら市)
- ・ 県西支部 仁平 直美 (代議員：筑西市)
- ・ 稲北支部 清水 昌樹 (支部長・理事：牛久市)

1. 開 会 事務局 篠原推進員

2. 挨拶 柴田委員長

3. 議事録作成者決定 那珂支部 大宮 武富 (代議員：ひたちなか市)

4. 協議事項

「茨城職連協 アンケート」現状と課題について

(10) 組織目的

① ネットワークづくりの重要性

- ・ 特にベテラン職員や職連協役員経験者はネットワークづくりと親睦を重要と感じているようである
- ・ 局長が行政職OBの社協では親睦・交流などは良い印象が持たれないようである

※資質の向上に取り組むにあたり、他市町村への聞き取り等を行うことでネットワーク形成につながるのではないだろうか

② 職連協をわからないという方が多い

- ・ 何らかの形で広報する必要がある
- ・ 職種によっては職連協自体を理解してない状況のようである

※目的をはっきりさせて地道に活動を続ける

③会員の資質の向上の意見が最も多い

(11) 優先事業

※専門分野向けの研修や意見交換を行ってみてはどうか

※新人・中堅・上級管理等を行ってみてはどうか

(12) メリット

・良かったと思えるには取組みに参加してもらう必要がある

※半数は加入して良かったと感じている

(13) デメリット

・役員をする事に負担(参加・役員をしなければ負担にはなっていない)を感じているようである

※一部の役員に負担が集まらないように部会化するなど、役割分担をするようにするなど改善するか検討する

・役員をやった事ないけど、負担と思っている人が 35%いる

【全体的課題】

☆今後職連協の一定期間の取組みをビジョン化していく

☆職連協のイメージづくりを行ってはどうか

☆県社協実施しているものと職連協が行っているものの重複部分がある程度整理できないだろうか

●理事会への報告書骨子(案)

- 1 委員会の目的と背景
- 2 現状と課題
- 3 取組みの方向性
- 4 方向性に沿った取組み計画

次回は、報告書骨子の中項目の内容を協議し、作業役割分担を決める。

※次回理事会は、9月26日木曜日13時30分から開催。

5. 閉会 柴田委員長

社会福祉 法人 ひたちなか市社会福祉協議会
議事録作成者 大宮 武 富